

昭和27、28年頃の

小性町

写真提供・粉川 誠三さん（国分寺）

昭和27、28年頃の雪化粧をした小性町の風景です。撮影場所は昔あった「魚多喜」の南側。小性町の通りを西へ向けて撮影しています。昭和27年の市勢要覧によると、当時の小性町の世帯数は90世帯、人口は368人でした（市全体では1万1774世帯、5万2267人）。



現在の小性町境界

このコーナーは歴史的
文化資産のデジタルアーカイブ（古写真のデジタル化）事業の成果の中から紹介しています

問い合わせ先
津山郷土博物館
☎22-4567

院」のものであり、その向かいには「江川絹織」です。当時、津山では和紙やガラ紡織物、加工製材、糸などの製造・卸業が盛んで、全国各地から多くの関係者が訪れました。そのため旅館が小性町には多くあり、写真の中央には「みやこ旅館」の看板が見えます。また、一番奥にぼんやりと見えるのは木造3階建ての「西村旅館」で、現存しています。「どて焼・串かつ」の看板は「宇治商店」のもの。その手前の「たばこ・塩」も同店のもののようです。また、写真中央にひと際高い電柱に取り付けられたスピーカーが目立ちます。戦時中、空襲警報などを放送していたものの名残りでしょうか。

表紙について

12月10日、公郷保育所

平成23年の干支にちなんで、ウサギと遊んでもらいました。エサをあげたり、抱っこしたり、追い掛けたり…。時にはかじられたり、ひっかかれたりもしましたが、笑顔いっぱい。今年も笑顔いっぱいの1年になるといいですね。

つ・ぶ・や・き

編集室



表紙の子どもたち以外にも、寒い中たくさん子どもたちがウサギと遊んでくれました。きりん組とあひる組のみんな～、ありがとね。所長を始めとする保育士の皆さんにも柵を移動してもらったり、場を盛り上げていただいたり、本当にありがとうございました。（&）

明けましておめでとうございます。今年の干支はウサギさん。ピョンピョン跳ねて大～きく飛躍なんて思っていますが、ストレス社会のこの御時世、急がず、焦らず、参りましょう。「休む勇氣」も必要です。心で分かって行動できない。そうだ、今年は勇氣を持とう。（修）

あけましておめでとうございます。初詣には行かれましたか？新年を迎えた喜びと決意を胸に、100円でこれでもかというほど、お願いやら、お願いやら、お願いをしたわたし（笑）。でもやっぱり、家族の健康が一番ですね。今年もよい年でありますように。（和）

編集・発行（毎月10日発行）

津山市総合企画部秘書広報室（市役所3階）〒708-8501 岡山県津山市山北520番地
☎0868-23-2111(代) ☎0868-32-2152 Eメール kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます
<http://www.city.tsuyama.okayama.jp/>



広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル（雑誌）にご協力ください

